

平成 21 年 5 月 8 日

各位

石油資源開発株式会社

ピークシェーブ設備(北海道石狩市)の建設の取り止めについて

石油資源開発株式会社(以下「当社」)は、北海道における冬期ピーク需要への安定供給対策を進めるため、北海道ガス株式会社の旧石狩工場跡地に「ピークシェーブ設備」として小型の LNG サテライト基地を新たに建設する計画を発表いたしました。(平成 20 年 9 月 9 日発表)

しかしながら、昨年来の急激な景気後退の中での北海道全体のエネルギー需要の変化、当社勇払油ガス田(北海道苫小牧市)の生産能力の増強対応、北海道ガス株式会社が建設中の石狩 LNG 受入基地の稼働時期前倒し(2013 年から 2012 年)等を総合的に判断し、検討した結果、今般、「ピークシェーブ設備」の建設を取り止めることとしましたので、お知らせいたします。

なお、当社は引き続き北海道ガス株式会社と連携し、同社が進める函館みなと工場での LNG 受入量の増量を利用して道内の天然ガス供給体制の強化を図り、両者協力のもと安定供給を確実なものにしていまいります。当社は、今後とも北海道におけるクリーンエネルギー天然ガスの普及に努めるとともに、安定供給の確保に万全を期してまいります。

【ご参考】

ピークシェーブ設備の概要(平成 20 年 9 月 9 日発表時)

建設場所：石狩市新港中央 4 丁目(北海道ガス旧石狩工場跡地)

主な設備：LNG タンク、LNG 気化器、熱量調整設備、付臭設備等

予定工期：2009 年春着工、2010 年秋完成